



hakodate marine bio cluster

文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）

函館マリンバイオフィォーラム&フェスタ2013



時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、当財団の事業推進にご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当財団は、「函館マリンバイオクラスター ～UMI (Universal Marine Industry) のグリーン・イノベーション～」をテーマに、文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）の中核機関として、平成25年度までの予定で事業を推進しております。

この度、本事業内容の紹介と産学官連携の新たな発展及び産学官関係者の一層の交流を図ることを目的に、函館マリンバイオフィォーラム&フェスタ2013を、下記の日程及び内容で開催いたします。

多数の皆様のご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成25年 7 月 18 日（木）

〈フォーラム〉13：30～17：00 〈フェスタ〉17：20～19：00

会 場：函館国際ホテル 函館市大手町5番10号（TEL 0138-23-5151）

主 催：（公財）函館地域産業振興財団、北海道、函館市

申込方法：下記の参加申込書によりFAX 又は E-mail でお申込みください。

申込締切日：平成25年7月12日（金）

参加費：フォーラム：無 料 フェスタ（交流会）：3,500円

※フェスタにご参加の場合、会費を当日会場にて申し受けますが、申込締切日以降はキャンセルできませんので御注意ください。

定 員：200名（予定）

申込先：〒041-0801 函館市桔梗町379番地 北海道立工業技術センター内

TEL 0138-34-2600 FAX 0138-34-2602

E-mail : marinebio@techakodate.or.jp

※裏面もご覧ください。フォーラムプログラムを記載しております。

「函館マリンバイオフィォーラム&フェスタ2013」参加申込書

（公財）函館地域産業振興財団 函館マリンバイオクラスター事務局行き

FAX (0138) 34-2602

会社・機関名	役職	出席者氏名	電話番号	フォーラム	フェスタ (交流会)

フォーラム及びフェスタ(交流会)について、それぞれ参加する欄に、個別に○印を記入してください。

なお、この参加申込書にご記入いただいた事項は、参加者の取り纏めや連絡等にものみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

■フォーラムプログラム

13：30～13：45

・主催者挨拶

本部長 北海道知事 高橋はるみ
(代理 北海道総合政策部科学IT振興局長 木場保洋)
副本部長 函館市長 工藤壽樹

13：45～14：15

・来賓紹介

・基調講演

「地域科学技術施策の現状と今後の方向性について（仮）」
文部科学省科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課
課長 里見朋香

14：15～14：30

・事業概要説明

事業総括 三浦汀介 ((公財)函館地域産業振興財団副理事長)

14：30～15：00

・高機能性成分を含有するチョウザメと海藻の自立型バイオファーマーミング

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 足立伸次
北海道大学大学院水産科学研究院 教授 安井肇

北方海域のメガベントス資源探索、とろみや色素に関わる機能性成分を多く含有する海藻とチョウザメについてのバイオファーマーミング開発研究、それに直結した産学官連携のオーダーメイド型高価値製品化と多様なクラスター形成について報告する。

15：00～15：30

・フコキサンチン素材の事業展開

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 宮下和夫

函館産アカモクを使用したフコキサンチン素材の事業化、特にフコキサンチン素材の商品化に必要な安定性の担保とその規格及び機能性食品サプリメントとしての将来性について報告する。

15：30～16：00

・“フード・コンプレックスの広がりを実感”

試作品・パネル展示・試飲・試食
さっぽろ ‘Smart-H’ ・とかちABCプロジェクトのパネル展示等併設予定

16：00～16：30

・函館マリンバイオクラスターブランド構築

公立はこだて未来大学 教授 柳英克

函館の地理的あるいは歴史的条件に根ざした地域力として「函館の海」が認知される事を目指し、函館マリンバイオクラスターのブランド構築を行った。本講演では函館の海」のブランド力を高めるためのデザイン手法及びその成果について報告する。

16：30～17：00

・スマート水産業のためのICT技術・予測技術の応用と事業化 ー今後の展望ー

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 齊藤誠一

データ同化モデルや海洋空間情報を活用した統合的な水産海洋環境計測・予測システムを開発している。ユビキタスファイヤセンサーネットワークなどのICT技術やデータ同化モデルなどの予測技術を活用した省力化、生態系に優しいスマート水産業の発展が求められており、水産業のビッグデータ活用も視野に入れたスマート水産業のビジネスモデルの展望について報告する。

17：20～19：00

・交流会：フェスタの部